

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課	■担当係	園芸畜産係
■評価事業名称	優良素牛導入保留事業費補助金		
■事業開始年度			
■評価事業コード	050200 - 110	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興	
	■施策	01 農業の生産性向上	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	北上市の肉用牛、乳用牛の資質の向上を図り、生産基盤の拡充・強化を図るため、優良な繁殖用雌牛の購入又は自家保留を行った農家に対し、補助金を交付する。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	優良素牛導入保留事業費補助金	農家	40,000円×60頭	実績 40,000円×60頭。H28から”きたかみ牛ブランド強化事業費補助金”に統合
02	きたかみ牛ブランド強化事業費補助金	農家		平成28年度から

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	2,400	2,402	2,401	2,407	
人件費	157	382	80	894	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,557	2,784	2,481	3,301	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	優良繁殖牛の導入・保留	60頭	60頭	60頭	60頭	
03	繁殖牛及び乳用牛の飼養頭数	773頭	不明	不明	不明	繁殖牛+乳牛

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

市内の酪農・肉用牛の生産者に対して、補助することができ、事業を適切に執行した。

問題点・課題等

関係機関と協力しながら、市内の生産基盤の拡充・強化を図る。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

28年度からはきたかみ牛ブランド強化事業に統合される。市内の繁殖部門・肥育部門の生産基盤の拡充・強化を図り、きたかみ牛の生産振興及びきたかみ牛のブランド化を構築していく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了